

(別紙4(2))

事業所名 すこやかホームこまき

## 目標達成計画

作成日: 平成 23年 5 月 23 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		職員の技術・知識に差が有り、安定したサービスが行えていない。	職員の知識・技術・意識の向上と、事業所としての方向性の周知。	知識・技術の向上を目的に定期的な勉強会を実施する。その際の資料はファイルにて保管し、チェック表をつけ、周知徹底をはかる。	6ヶ月
2	26	介護計画の作成の際、介護職員は代表者のみの意見となっている。	介護計画の作成は、利用者・家族・医師はもちろんすべての人々の意見をきく。	ケア記録によりすべての職員の意見を反映させ、利用者・家族・医師・理学療法士等の意見を下に作成する。	6ヶ月
3	4	運営推進会議の参加者が決まってきた。	運営推進会議に利用者・家族・地域住民等多様な人材の参加。	アンケートや訪問の際に希望を聞くことで、参加可能な曜日や日程を把握し、その中で月ごとに日程を特定せず、様々な方の参加を促していきます。その際、過去の会議を把握できる様に議事録をまとめ、会議を膨らませていく。	6ヶ月
4	35	避難訓練の際、実際の想定訓練が実施できていない。	地域の協力のもと、実際の想定訓練を行う。	再度フローチャートを確認・周知徹底をはかり、備蓄や避難道具を明確にする。また、年1回の想定訓練を実施する。	12ヶ月
5	4	地域の中で介護や福祉施設について、知らないほうが多い。	地域の方に当事業所を知っていただく。	地域に知っていただく為、看板や地域への活動を増やしていく。また、地域行事に積極的に参加する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。